



年代別では高齢者が5割近くを占めており、乳幼児と少年を合わせると1割以上となっています。傷病程度別では、4割近くの方が入院しています。また、発生場所別では、4割近くが住居において救急搬送されています。

熱中症による救急搬送者の内訳（平成24年～平成29年合計）

搬送人員計 294,633人
※6～9月の調査集計

【年齢区分別】

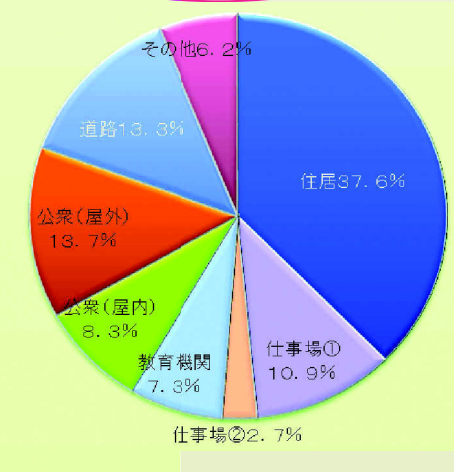
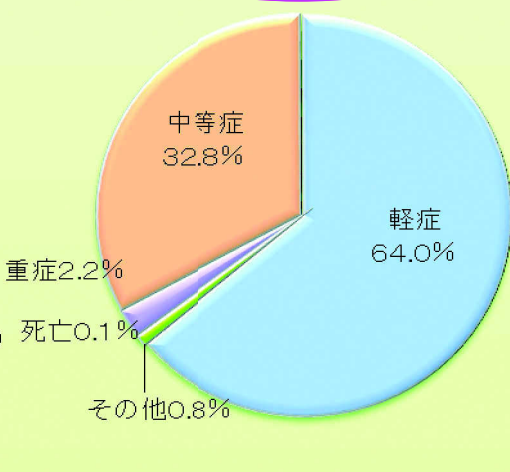
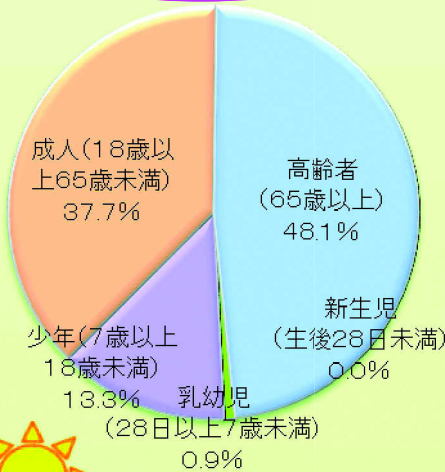
【傷病程度別】

【発生場所別】

5割近くが高齢者、
乳幼児と少年が1割
以上を占める！

4割近くの方は入院
(重症・中等症)
が必要！

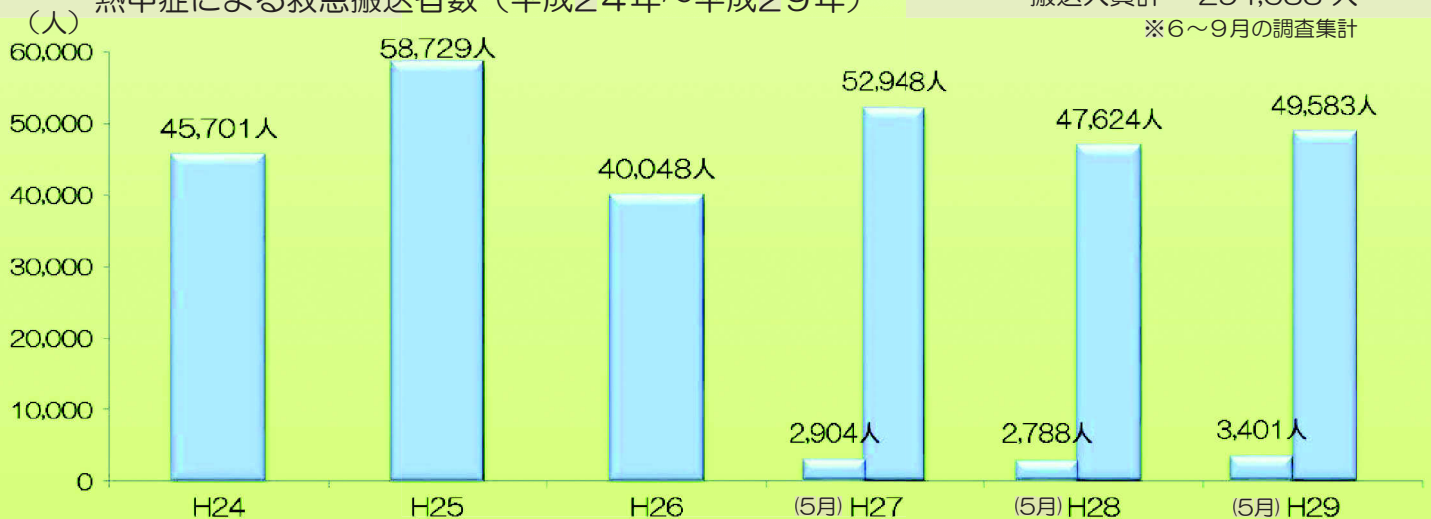
4割近くの方が住居
において救急搬送！



熱中症により、毎年約4万人以上の方が救急搬送されています。熱中症による救急搬送者増加の要因として、気温や湿度の上昇が関係していることが分かっています。特に、梅雨明け前後の暑さには、最も注意が必要です！！

熱中症による救急搬送者数（平成24年～平成29年）

搬送人員計 294,633人
※6～9月の調査集計



◆ 消防庁では、HP上で熱中症の救急搬送状況調査の速報を週ごとに公表しています。

URL : http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList9_2.html

参考：環境省「熱中症環境保健マニュアル」

http://www.wbgt.env.go.jp/heatstroke_manual.php



消防庁

FDMA
住民とともに

<http://www.fdma.go.jp/>